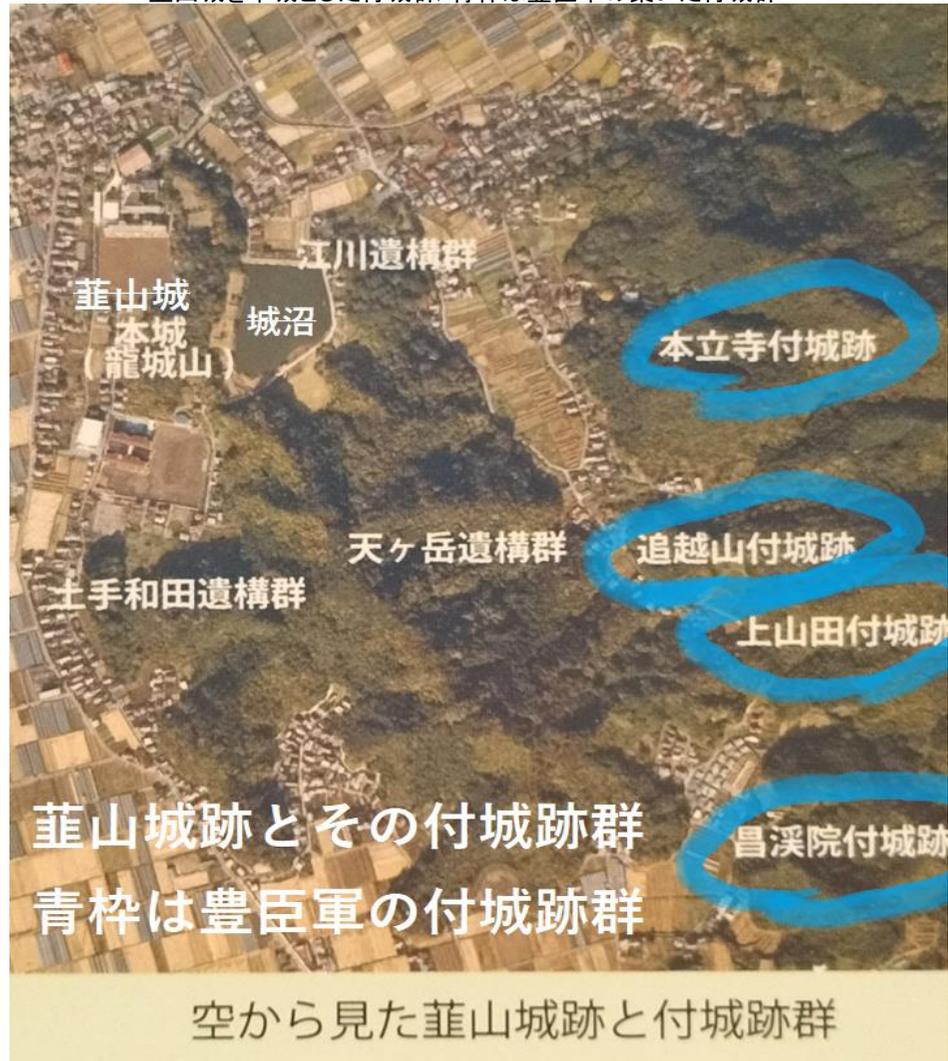


葦山城跡（伊豆の国市）

葦山城を本城とした付城群/青枠は豊臣軍の築いた付城群



駿河の今川氏の客将であった伊勢宗瑞(通称:北条早雲)が、明応2年(1493年)に葦山の堀越公方を攻め、葦山城を整備し、自らの本城としたと云う

葦山城跡

葦山城とは

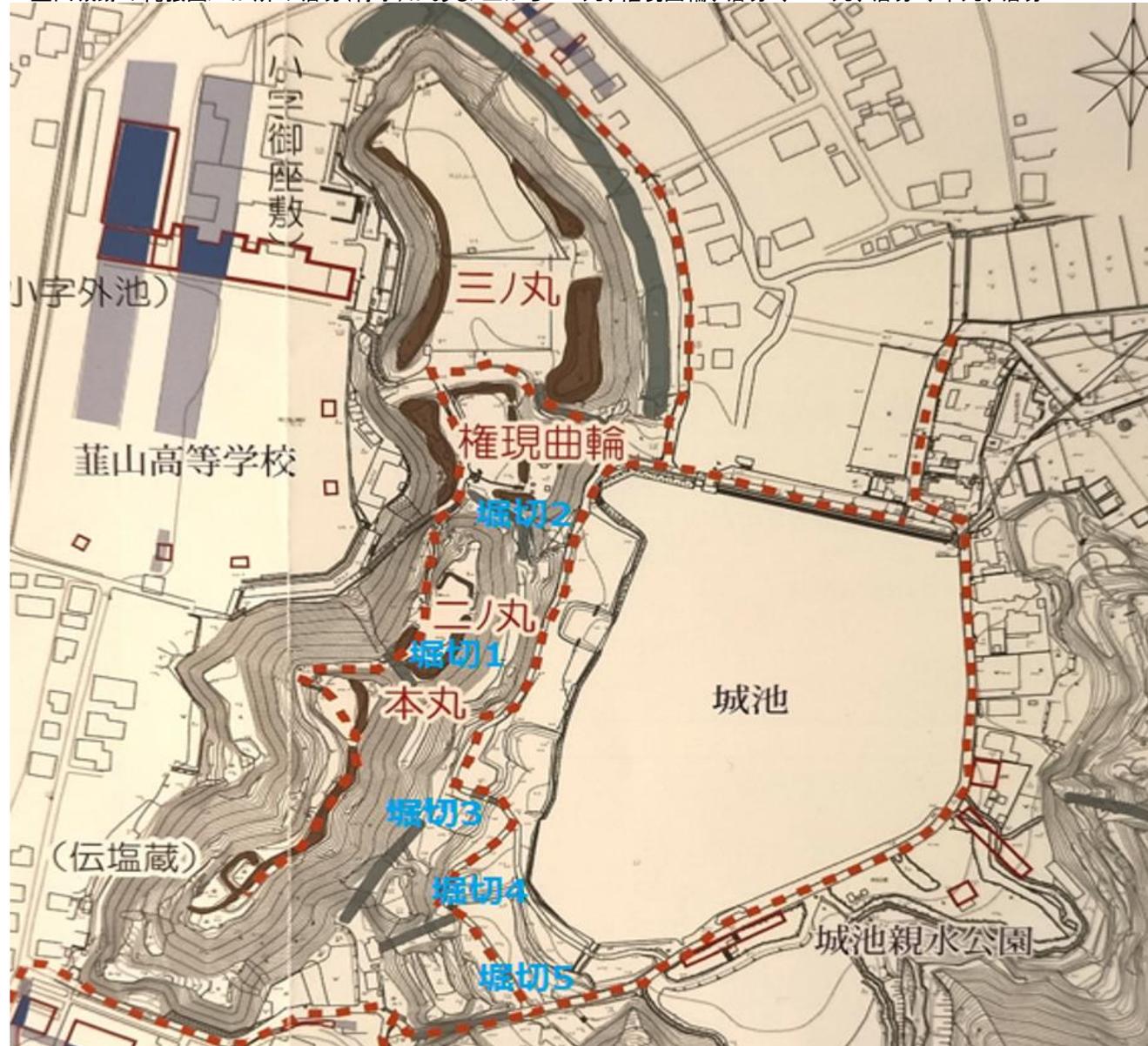
明応2年(1493)、伊豆に侵攻した北条早雲(伊勢新九郎盛時)によって本格的に築城され、およそ100年にわたって存続した中世城郭。早雲は、葦山城を本拠地として伊豆から関東地方へ進出し、戦国大名北条氏の基礎を築いた。永正16年(1519)早雲が没したのも葦山城である。

北条氏の本拠地が小田原に移った後も、葦山城は領国支配と防衛の重要拠点であった。天正18年(1590)、豊臣秀吉による小田原攻めの際、4万を超える軍勢に包囲されたが、約3か月にわたって持ちこたえ、小田原城と前後して開城した。その後、徳川家康の家臣内藤信成が城主となり、慶長6年(1601)信成の駿府転封とともに廃城となった。

葦山城は通称「籠城山」に所在し、本丸・二の丸などの曲輪や、土塁、堀などが良好な状態で残存している。平時の居館などがあったと思われる平地部分には「御座敷」の字名が残る(現県立葦山高校校地)。また、周辺には本城を囲むように「土手和田砦」、「和田島砦」、「天ヶ岳砦」、「江川砦」があり、現在でも曲輪や土塁などの遺構が確認できる。

年代	伊豆の国市でのできごと	日本史上のできごと
明応2年(1493)	北条早雲、堀越御所を攻め滅ぼす	
	北条早雲、葦山城を築城	
明応4年(1495)		北条早雲、小田原城を奪う
永正16年(1519)	北条早雲、葦山城で没する	
天文12年(1543)		種子島に鉄砲伝来
天正10年(1582)		本能寺の変
天正18年(1590)	葦山城、対豊臣軍籠城戦→開城	豊臣軍小田原攻め
	内藤信成、葦山城主となる	
慶長6年(1601)	内藤信成駿府へ転封、葦山城廃城	

葦山城跡の縄張図/5か所の堀切(青字)がある/上から三ノ丸、権現曲輪、堀切2、二ノ丸、堀切1、本丸、堀切3・4・5



蛭ヶ島公園に立つ源頼朝と北条政子像/この前方に見える丘陵に葦山城跡が所在する



前方が城池越しに見た韮山城跡(本城)/右手から三ノ丸～権現曲輪～二の丸～本丸/東側から見たところ/右端には富士山が見える

 [video](#)



それでは、三ノ丸～権現曲輪～二の丸～本丸と進んでみよう！/これは東側からの三ノ丸への虎口/前方にネットフェンスが立っている

[video](#)



左手に回り込んだところ/右手のネットフェンス内は蕪山高等学校のテニスコート



「三の丸」と記された看板が立っていた

[video](#)



テニスコートの様子/この一帯が三ノ丸ということのようである/周囲には土塁が残っていた



振り向くと、こちらは権現曲輪への虎口/両サイドは土塁

[video](#)



権現曲輪に進む前に、手前を右手に進むと葦山高等学校のグラウンドが見えた/グラウンドのエリアは「御座敷」という小字が残る屋敷跡らしい/この坂はその虎口



ここが御座敷跡

 video



さて、三ノ丸から権現曲輪への虎口を通過して、権現曲輪内へ進もう

 video



虎口を抜けると、前方に鳥居が立っているのが見える

[video](#)



ここが権現曲輪/周囲には土塁が廻っている/北側から南方向に見たところ

[video](#)



「権現曲輪」と記された看板



これは北条早雲が蕪山城の守り神として祀った「熊野権現」の鳥居/権現曲輪とは熊野権現があるために付与された通称名称とされる

[video](#)



由緒

一、神社名

熊野神社

一、鎮座地

静岡県伊豆の国市菰山字天主百九十五番地

一、祭神

伊邪那美命
伊邪那美命

一、創立年月日

明応九年九月 西暦一五〇〇年 (室町時代)

一、由緒沿革

当社は、後北条の初代伊勢宗瑞(そうすい)(新九郎盛時 通称北条早雲)が明応二年堀越御所の内紛時に伊豆に進出し、ほどなく伊豆一円を平定し、この地に菰山城を築いた。明応九年菰山城の守護神として伊邪那美命(いざなみのみこと)を祀り熊野神社を創建した。その後、天正十八年(一五九〇年)秀吉の天下統一の戦いで北条氏滅亡後、江川家に於いて社屋を修復して同地区の土手和田村松並の鎮守の神として祭りつがれ、現在、土手和田区松並地区に於いて維持管理をしている。

一、境内地

二百五十八坪 (江川家所有)

一、氏子崇敬者

二百六十余戸

平成二十八年十二月吉日

土塁の上に鎮座する熊野権現の社殿

[video](#)



この土塁上は三ノ丸への虎口を見張る檜台的な場所のようだ

[video](#)



社殿の背後から三ノ丸方向を見下ろしたところ

 video



この階段は権現曲輪から二ノ丸への虎口/その右手は権現曲輪と二ノ丸との間の堀切2の西端

[video](#)



左手を見たところ/これが権現曲輪(左手)と二ノ丸(右手)との間の堀切2



その堀切2の先(東方向)に進んでみると、ここは虎口としても利用されたような地形となっている/前方にバリケードが見える



そこで、振り返って堀切2を見たところ/左手が二ノ丸、右手は権現曲輪

[video](#)



このバリケードの先は腰郭的な平場に見えた

[video](#)



堀切2の西端を進んでみると、こんな感じで葦山高等学校のグラウンドへ下っている

 video



そこで、振り返って堀切2を見たところ/右手が二ノ丸、左手は権現曲輪



さて、権現曲輪から二ノ丸への虎口を登って進もう

 video



この上が二ノ丸

[video](#)



ここが二ノ丸/北側から南方向に見たところ/右手が登って来た階段/周囲には土塁が残っている

[video](#)



「二の丸」と記された看板



西側には蕪山高等学校が見下ろせる



北端に寄ってみる



権現曲輪が見える



そこで、振り返って二ノ丸(本丸方向)を見たところ

 video



前方が本丸/右手に本丸への虎口が見える

[video](#)



その虎口の手前には、二ノ丸と本丸との間の土橋が明確に残り、堀切1(右手は豎堀状になっている)がある

[video](#)



その堀切1を東側から西方向に見たところ/左手が本丸、右手は二ノ丸

[video](#)



土橋の本丸寄りから二ノ丸方向を見たところ/両サイドが堀切1で、左手は豎堀状に下っている

[video](#)



これは二ノ丸を南側から北方向に見たところ

 video



さて、二ノ丸から本丸への虎口を進んでみよう

 [video](#)



この上が本丸/右手のバリケードの先には腰郭的な平場が続いていた

[video](#)



これが腰郭と思われる平地

[video](#)



その先もかなり続いているので帯郭なのかもしれない/左手のマウンドは本丸から伝塩蔵(南方向)へと延びる尾根



これが本丸/北側から南方向に見たところ/緩やかな傾斜のある平地だった

[video](#)



周囲にはこのように土塁が残っている

 video



右手(西方向)を見たところ



ここから先が伝塩蔵に続く尾根/右下が尾根に沿って延びる腰郭と思われる平場

[video](#)



尾根上を伝塩蔵方向へ進んでみる/右下が腰郭(帯郭)

[video](#)



そこで、振り返って本丸方向を見たところ

[video](#)



更に進もう！

 video



右下(腰郭の南端)を見ると、バリケードが見える



そこで、振り返って本丸方向を見たところ



更にその先(南方向)に一寸した平場が見える

[video](#)



こんな塩梅/ここが伝塩蔵のエリアなのか！？

[video](#)



右下を見ると、土手のような地形があった/左右の平場を区切るためのものなのか！？

[video](#)



右下に下りて、その土手状の高まりを横から見たところ



これは腰郭(帯郭)の南寄り、南方向を見たところ

 video



さて、ここは城池の西側(本城側)の地形/水堀であった城池を利用するための渡船場的な場所だったのであろうか！？

[video](#)



前方が堀切3/右手が本城、左手はそこから続く低い尾根/右手前に看板が見える

[video](#)



「堀切3」とある



これが堀切3

 video



堀切3を東側から西方向に見たところ

[video](#)



反対に西側から東方向に見たところ

 video



ここは堀切4/左手に看板が見える

[video](#)



「堀切4」とある

[video](#)



堀切4を東側から西方向に見たところ

[video](#)



反対に西側から東方向に見たところ

 video



ここは堀切5/右手が本城、左手はそこから続く尾根/現在は道路となっている/前方に看板が見える

[video](#)



「堀切5」とある

[video](#)



